

高校生が持っているスポーツの価値に関する研究 —スポーツの価値を共有するメリットについて—

松上 徹也 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)

指導教員 新井 博

キーワード：スポーツの価値、高校生、競技成績の向上

1.はじめに

本研究の目的は、「高校生のチームスポーツにおいて、各部員がスポーツの価値を意識し、それを共有することは、競技成績を向上させることにつながる。」という仮説を検証することである。スポーツの価値とは人間形成・体力・技術・精神面の能力を向上させ、現在あるいは将来の自分にもたらされるメリットのことである。

2.研究方法

本研究では仮説を検証するための種目をサッカーに絞る。調査対象はG県G高校サッカー部員35名とH県I高校サッカー部員30名の部員達である。

- ① アンケート調査 (意識調査)
- ② 練習内容の調査
- ③ 大会成績の調査
- ④ 指導方針の調査

以上4つの調査を実施し、それらの結果を基に考察を加え仮説の検証を行う。

3.調査結果と考察

① アンケート調査結果からの考察

アンケート調査よりI高校サッカー部よりG高校サッカー部の方が競技に取り組む姿勢が熱心である。また、G・I高校のサッカー部員は、同様にスポーツの価値を意識しているが、それをチーム内で共有することにおいてはG高校の方がよく共有されている。G高校は部員同士の話し合いがよく行われ、チーム全体に浸透し、共有する組織作りがなされている。

② 練習内容の調査

練習内容、練習時間に関して、それほど大きな差は見られない(I高校も個人の練習に対するモチベーションがあれば土曜日の練習時間を有効活用し、G高校と同程度の練習をすることができる)。①の結果より、G高校の方が練習に熱心に取り組んでいるのでI高校よりも、練習の「質」が高いと考えられる。

③ 大会成績の調査結果からの考察

G高校の方がI高校よりも大会でよい成績を収めていることがわかる。

④ 指導方針の調査結果からの考察

若干の差はあるが、両チームには技術を持った指導者、あるいは選手がいる。その「強み」を活かし強いチームを作り上げているのがG高校である。対して、活かさきれていないのがI高校である。両者の違いは目指すサッカーという競技の価値を全員で話し合い、共有されているかどうかの違いであると考えられる。

4.まとめ

以上、4つの考察を踏まえると、「チームスポーツにおいて、各部員がスポーツの価値を意識し、それを共有することは、競技成績を向上させることにつながる。」という仮説が正しかったことを証明することが出来る。

参考文献

土田了輔 (2009) 学習内容の開発研究.
財団法人 日本体育協会 HP